

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2019年7月10日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	フランス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: リヨン政治学院 現地言語: Sciences Po Lyon
留学期間	2018年9月～2019年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年6月6日
明治大学卒業予定年	2020年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月中旬～12月中旬 2学期:1月終旬～5月上旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	1948

留学費用項目	現地通貨 ( )	円	備考
授業料		円	交換留学のため明治大学の学費
宿舍費	404€	48884円	
食費		円	
図書費		円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>		円	

## 渡航関連

## 渡航経路:

## 渡航費用

チケットの種類

往路 60352

復路 42740

合計 103092

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

expedia

## 滞在形態関連

## 1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮

## 2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 )

## 3)住居を探した方法:

留学先大学からの斡旋

## 4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

部屋はキレイで市内のアクセスも良く、学校までは徒歩で通えます。1階には学生のが利用できるカフェテリアがあるので友人との交流もしやすいと思います。check-out の際、かなり細かく部屋の状態をチェックされるので部屋をキレイな状態に保てると楽です。

## 現地情報

## 1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった利用した:

## 2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

特になし

## 3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省及び領事館からの定期的なメール。yellow vest の運動があったのでアプリで英字新聞などで情報収集。

## 4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

料や学校の wifi は普通に利用できます。携帯は sim カードを購入し利用、つながりにくい時もあったが特に問題はなかった。

## 5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行講座を開講し親から送金してもらっていた。

## 6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

化粧品などは日本の物があると思う。電子機器も日本の物の方が質も持ちも良い。

## 7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
現時点では手続きを済ませていませんが、来学期より休学しようと考えております。 つきまして内定先は未定ではございますが、人財・コンサルを希望しております。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
私は勉強や現地での交流だけに時間を割こうとあえて「就職活動」をしませんでした。内定を得てない状態ですので説得性には欠けますが、結果的に留学でのユニークな体験は、自分を表現するための大きなソースになりえます(私の場合は修規模の会社でのインターン中、様々な場面で、主に事故ブランディングとして活用できています)。
ただ、少なくともいわゆる自己分析や企業研究などはネットでもできたのでやるべきだったと痛感しました。元々卒業を1年先延ばしにつもりではいましたが、エントリーシートに取り組むだけでも、「では留学でどんなことに取り組もうか」と留学中の活動を再考・熟考する機会になり唯意義な留学となるかと思えます。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	

感想を自由記入	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	知人の留学経験者と話し、期間中の計画の作成
2018年 1月～3月	アカデミック英語の学習
4月～7月	自分の留学コンセプトを基に情報収集など
8月～9月	1学期目開始
10月～12月	1学期期末試験
2019年 1月～3月	2学期開始 部活の全仏大会
4月～7月	2学期期末試験 帰国後インターンシップ開始
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと思った理由	留学をしようと思った理由は、大学入学後から外国製の方と接する機会が増え、価値観の異なる世界に飛び込みたいと思ったのがきっかけです。1年次応募のプログラムで選考落ちをしてしまいましたが、その後実際に海外に足を運び現地の空気に触れ、この体験を1年間続けることができたなんてステキなのだろうと思い、絶対に学生のうちに長期留学をしたかったため、3年次出発の協定留学に応募しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	私の学部には留学生が多数在籍しているので、英語実施の講義や留学生の語学ボランティアに参加し、なるべく英語のみで学習する機会を作りましたまた学外で海外インターン生と関わる機会があったので、会話力質問力の向上に努めました。重要なことはいかにコミュニケーションが取れるかで、学問スキルは二の次で良いかもしれませんが。私はつまづくたびに周りの学生に助けられました。また、国際日本学部以外の学生はあまり習慣がないかもしれませんが、ニュースやラジオなどで世界情勢は常に追っておくと良いです(留学先の学部問わず)。SNS や無料アプリで簡単に閲覧できますし、ご自身の留学先での学問分野であれば、情報収集と同時に自身の語学力も試せます。)
この留学先を選んだ理由	私は留学先の焦点をヨーロッパ(英語開講)に絞りました。理由としては、元々英語が達者ではなく、そもそも言語力向上のためではなく、「英語がフラット」である環境に惹かれたためです。正直英語に絶対的な自信があったわけではなかったため、踏み込みやすい地盤を得るのは重要だと考えました。また友人から勧められたこともあり、事前に計画が立てやすかったのも留学先として選んだ理由の一つです。
大学・学生の雰囲気	町全体が学生街となっており、キャンパスは小規模ながらも、留学生現地の学生問わず常に活気にあふれています。国内でも屈指の優秀校で、学期期間中は多くの学生が勉強・研究に時間を割いています。主に留学生用のアクティビティも充実しており、友人の輪はあつという間に広げることができます。私はキャンパスの中庭や近くの河川敷でゆっくり時間を過ごすのが好きでした。
寮の雰囲気	寮での交流はあまりなく、現地の学生はあまり住んでいませんでした。日本人学生や他の大学の学生、現地の社会人などが住んでいました。ただ、一階が学生向けのカフェテリアになっており、比較的リーズナブルな値段で昼食を取れるため週に一度は足を運んだり、図書館が小規模なのでプレゼンテーションの準備の場として活用しました。
交友関係	留学当初にアジア研究をしている現地学生と知り合い、その友人や部活のメンバーと大半の時間を過ごしていました。そのため他の留学生とは授業内や時折昼食を共にとる程度でしたが、現地の文化により深く関わることができたと思っています。特に部活での試合や大会では日本ではおよそ体験できないであろうことも経験できました。
困ったこと、大変だったこと	一番大変だったのは言語です。学生や寮母さん、各重要機関の業務員は英語を話せましたが、もちろん英語を話せない方も多くコミュニケーションが取れずでした。フランスでは書類を書く機会が多いのですが、英語の案内がないものが多いので、都度現地の学生に聞いて助けられました。特に医療関係はシステムなども日本のそれとは大きく異なるため苦労しました。
学習内容・勉強について	私の所属先は政治学院で、前期コースになっており主にヨーロッパの基礎知識(地理・歴史・国際関係など)で日本の世界史に近い内容とフランスの政治、後期は自由に履修が組めたので英米仏の関係を中心に履修しました。正直授業の難易度は予想よりかなり高く、専門用語も多用させるのでついていけない時もありました。わからないところは友人によく聞きましたが、教授も質問等にはよく答えてくれるので、空き時間やメールで何度か連絡を取りました。

課題・試験について	課題は語学の授業で毎回神宿題で、主だった科目ではリーディングの課題が中心でした。物量は科目によって異なりますが、A4で5-20枚程度の参考資料が課され、必読とされていないし読むと授業についていけないので、放課後は基本的に宿題でした。試験は授業時間内のみで手書き、持ち込みはないためかなり時間をかけて構成を練ったり文献を読むひつようがあったため、すべての科目で良いパフォーマンスはできませんでした。プレゼンテーションのみの授業もいくつか見受けられました。
大学外の活動について	学外ではサッカー部とMUN(Model United Nations)に所属していました。どちらも留学生は私一人で、不安もありましたがフランスらしさを日々感じる事ができました。週に1、2回程度共に夕食を取る機会もあり、現地学生との交友関係はかなり広げることができました。
留学を志す人へ	留学をする理由はどんなものでも良いと思います。中には将来役立つかも、と留学をする人もいるでしょうか。私は自分が納得できる理由であれば胸張り、それを前面に掲げて挑戦して欲しいと思います。たくさんワクワクし、情熱をもって望んで欲しいと思います。おそらく、現在のあなたとの環境よりも挑戦や失敗をしやすい環境が待っています。とにかく挑戦して、自身の目的のために励んで欲しいと思います。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	Europe's nuclear independence	French Politics	Weak Parties, Weak Democracies			週末はサッカー部の練習や試合、バックパックで海外旅行をしました。	
	Economic Crisis	Français		Français			
午後		Economic Crisis	Français	Justice and Democracies	Unification of Italy		
	The US-UK special relationship	European Imperialism in the 19C	Economic Crisis	サッカー部			
夕刻	サッカー部	MUN					
夜	自習	自習	自習				